

生産性向上支援訓練を実施した「高末株式会社」様の取り組みをご紹介します。

高末株式会社 売上高グループ連結:163億円(2019年2月期)、従業員数653名

弊社は運送・構内作業を主体とする物流業を行っております。
昨年より南区にあるセンターにてメーカー様に向け『流通過程における加工・組立』を提供する事で煩雑な流通過程を短縮・効率化するサービスを開始しました。
しかし弊社ではものづくりにおける改善手法を学んだ経験が少なかったため、本訓練により加工・組立部門のノウハウの確立とレベルアップを目指す事にしました。

改善の進め方

18/9月から取組開始

・9/25~外部講師が週1回来所、改善指導を受ける

ものづくりの
基本・改善手法を
座学で学ぶ

学んだことを
職場で実践

基要素本

- ・ものづくりの仕事のしくみ
- ・生産性分析と向上
- ・生産現場の問題発見・解決
- ・生産計画と工程管理

改善活動の実践

- ・問題解決手順に基づく改善活動
- ・トップへの活動報告、発表会

訓練受講コース一覧

2018年

- ・9月 ものづくりの仕事のしくみと生産性向上
- ・10月 生産性分析と向上
- ・11月 生産現場の問題解決
- ・12月 生産性向上のための課題とラインバランシング

2019年

- ・1月 生産計画と工程管理
- ・10月 品質管理基本
- ・11月 品質管理実践

組立加工業務にて
外部講師を招いて
生産改善手法を学び
活動を実践、
生産性の大幅向上に成功



稲見達哉主任

何となく知っていたけれど実際はよく分かっていなかった「問題点の捉え方」や、今までも実施していたけれどもっと様々あった「解決の為の手法」について学びました。

具体的には人やモノの流れを見える化する、商品や動作を数える、リードタイム・サイクルタイムを測る、分析するといった事です。そういったものづくりの基本を元に『作業場のレイアウト・作業の流れ・段取り』の『あるべき姿の明確化、問題点の発見、解決策の策定』を行う事でムダ削減と生産改善に取り組みました。

結果、2つの業務ラインにて設定した目標

- 1.不採算業務の生産改善
 - 2.増産予定業務の生産能力向上
- を、講習期間内に大幅に達成する事ができました。

成果1.生産力の増強

作業員2名で作成時の **時間あたり生産個数**



成果2.庫内環境・作業環境



改善前 ↑ 乱雑

改善後 ↓ すっきり

見た目も美しい、
機能的・効率的な
作業場へ。

